

学部	法学部
学科	法学科
<p>学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画</p>	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、名城大学における教員養成の理念、および学科の設置理念のもと、①法学・政治学についての専門的知識・思考をもって現代社会に幅広く対応できる力、②我々が生きる社会・国家について、歴史的背景や思想的背景をふまえて多面的・総合的に考察できる力、③主体的に思考し、その考えをまとめ、他者にわかりやすく伝えることのできる力、を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は、目標を達成するために、次の計画を実施する。</p> <p>①基礎科目（いわゆる六法科目）を充実させ、法に関する基本的な知識と思考力を身につけさせるとともに、「基礎法学部門」、「公法部門」、「刑事法部門」、「民事法部門」、「企業・社会法部門」、「政治学部門」、「国際法部門」に分けられた幅広い専門科目を開講し、法学・政治学についての専門的知識・思考を身につけさせる。</p> <p>②教養科目として、日本史、政治史を、また、「基礎法部門」「政治学部門」の科目として、日本法制史、日本近代法史、政治史、政治思想史、西洋法制史、東洋法史論、国際政治史といった科目を設置することで、社会・国家について、歴史的背景や思想的背景をふまえて多面的・総合的に考察するために必要な知識や諸能力を育成する。</p> <p>③1年次から4年次までの各学年において演習科目を開講し、少人数で相互に学ぶ機会を確保する。こうした演習科目の受講を通して、主体的に思考し、その考えをまとめ、他者にわかりやすく伝えることのできる力を育成する。</p>

学部	経営学部
学科	経営学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科は、立学の精神「穏健中性で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」に根差し、経営学、会計学、マーケティングおよび関連諸学の理論的研究をベースにして、広汎な教養を備え、グローバル化・情報化が進展している社会において求められる実践的能力や創造的な知性と豊かな人間性を備えた有能な人材教育をなしえる教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は、目標を達成するために以下の計画を実施する。</p> <p>①教育研究上の特色を活かした教職課程の編成 「マネジメント」、「会計ファイナンス」、「マーケティング」の3のコースにそれぞれ設置された本学科の教育研究上の特色を通じ、広汎な教養を備え、グローバル化・情報化が進展している社会において求められる実践的能力や創造的な知性と豊かな人間性を養成し、教員として必要な高度な教科専門性と確かな探求能力を育成する。</p> <p>②教職センターとの連携 教職センター委員会を通じて、本学科の教職課程自己点検・評価活動を行うとともに、全学的な教職課程を担う教職センターと連携し、教職課程運営の改善を推進し、教職課程の質の向上を図る。</p>

学部	経営学部
学科	国際経営学科
<p>学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画</p>	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科は、立学の精神「穏健中性で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」に根差し、国際的な視点と教養・実務・専門知識を身につけた人材教育をなしえる教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は、目標を達成するために以下の計画を実施する。</p> <p>①教育研究上の特色を活かした教職課程の編成 新たな時代を開拓する「国際経営」を視野に入れ、相手企業の立地する国そのものの理解(地域社会構造・歴史・文化・言語などを含む)を深め、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする本学科の教育研究上の特色を通じ、教員として必要な高度な教科専門性と確かな探求能力を育成する。</p> <p>②教職センターとの連携 教職センター委員会を通じて、本学科の教職課程自己点検・評価活動を行うとともに、全学的な教職課程を担う教職センターと連携し、教職課程運営の改善を推進し、教職課程の質の向上を図る。</p>

学部	経済学部
学科	経済学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、学科教育課程を通じて身につけた経済学全般の深い専門知識、現代社会の諸問題への経済学的アプローチにより培われた、理論と実証にもとづく客観的な意思決定能力、ならびに、ゼミ活動などを通して養われた他者との協調性、責任感、実行力、包容力、信頼性を備え、新たな学修方法の工夫などに必要な実践的指導力を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は専門基礎、理論経済、歴史・金融・政策などの各部門を置き、社会科、地理歴史科、公民科、商業科が対象とする領域を扱う授業科目を開講する。理論・歴史・政策の研究過程を通じて、経済と社会の本質・現実について深く分析できるカリキュラムを設定するとともに、自主性と協調性を育む場として、ゼミナール、フィールドワークなどの少人数教育を実施する。</p>

学部	経済学部
学科	産業社会学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、学科教育課程を通じて身につけた現代社会の経済問題に関する深い専門知識、現代社会の諸問題への実践的アプローチにより培われた行動力および仮説・検証能力、ならびに、ゼミ活動などを通して養われた他者との協調性、責任感、実行力、包容力、信頼性を備え、新たな学修方法の工夫などに必要な実践的指導力を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は専門基礎、理論経済、現代社会などの各部門を置き、社会科、地理歴史科、公民科、商業科が対象とする領域を扱う授業科目を開講する。体験型・実践型の科目を豊富に含むカリキュラムを設定し、現実の経済活動の観察・検証を通じて広い見識を培うとともに、自主性と協調性を育む場として、ゼミナール、フィールドワークなどの少人数教育を実施する。</p>

学部	理工学部
学科	数学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、数学教育や情報教育に求められる基礎的知識・技能・思考力・表現力を体得し、高い教養と専門的能力を持ち、数学という文化の重要性と魅力を深く吸収し、自身の言葉で自在に語り、「生徒たちの数学や情報を学ぶ意欲」を高めることのできる資質を備えた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科においては、数学全体を5つの分野、代数学、幾何学、解析学、数理情報、計算機科学に大別して、各分野を系統的かつ横断的に学べるよう整備している。また、情報に関する総合的な知識・技能を備えた人材を育成するため、計算機教育にも力を入れている。教員養成の目標を達成するために、特に次の2つの計画を実施している。(1)単に演習問題が解けるだけの知識ではなく、常に、理論全体のできるだけ深い理解を目指すことをを念頭に置いた授業を行っている。(2)計算機の利用方法よりも、仕組みに重点を置いた理解に加え、数学の学習、教育、研究に計算機を実践的に使用する授業を行っている。</p>

学部	理工学部
学科	電気電子工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教職課程においては、高い教養と専門的能力を持つ教員（特に物理化学分野）の養成を使命とし、理科教育に必要な科学・技術に関する基礎的な素養を身につけた人材を養成する。あわせて、本学部・学科での幅広い素養を備え、社会に通用する専門知識とその応用力を持つ高度な科学技術者としての素養を有し、教職に関わる深い理解とものづくり産業を支える人材を育成できる工業教育の教員を出していきたい。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科の教職課程においては、目標を達成するために、次の計画を実施する。①教員としての資質・技能の育成のため本学部・本学科の総合基礎および電気電子工学分野の科目等を通じて、教員としての資質・技能を育成する。②本学科での実験・実習等の独自の科目設置による「科学的な思考力・表現力」および「観察・実験、探究活動」等の基本的な方法論を身につけた教員を養成する。③本学科での教育研究上の特色を活かした卒業研究等を通して社会に通用する専門知識とその応用力を持つ高度な科学技術者としての素養を有する理科及び工業教育の人材を育成する。</p>

学部	理工学部
学科	材料機能工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教職課程では、「材料組織と特性の理解」を礎とした材料工学の基礎に関して、高い教養と専門的能力を持つ教員の養成を使命とする。これに基づき、理科および工業教育に求められる科学技術に関する基礎的な素養を身につけた教員を養成する。また、社会に通用する専門知識とその応用力を兼ね備えた「産業を支える人材」の育成に寄与できる工業教育の担い手を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科では、材料工学の基礎に関して「電気電子」、「構造・物性解析」、「機械特性」の3分野の教育を根幹とし、講義科目と実験科目を並列開講することで「実感し経験しながら学ぶ教育」を展開している。これにより、カーボンニュートラル実現等の横断的な技術の融合が求められる中、上記目標に掲げた「材料工学の基礎に関する高い教養と専門能力」に加えてグローバルな視野を備えた技術者の育成を目指し教育を行っている。</p>

学部	理工学部
学科	応用化学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、科学技術に関する基礎的な素養を有し、「化学的な思考力・表現力」、「化学に対する関心を持ち続ける態度」、「観察・実験、探究活動」等の基本的方法論を身につけ、社会に通用する専門知識とその応用力を持つ高度な科学技術者としての素養を活用し、「新たな時代のものづくり産業を支える人材」を育成することのできる、高い教養と専門的能力（有機化学、物理化学、無機化学）を持つ、理科および工業教育の担い手となる人材を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科では、化学全体を3つの基盤分野、合成化学（有機化学分野）、物質・材料化学（物理化学分野）、環境・エネルギー材料化学（無機化学分野）に大別し、各分野を系統的かつ横断的に学べるようにしている。また、化学以外の理科分野（特に物理と生物）について、応用化学の専門性との関連を持たせつつ学ぶ機会を提供している。理科全般と工業に関する総合的な知識・技能を備えた人材を育成するため、机上の学修にとどめず幅広く専門知識を学び、社会の変化に自在に対応して問題解決する能力を養うため、特に次の3つを計画し実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教養教育科目：能動的学修の要素を取り入れた教育 (2) 専門教育：動機付けの教育と、演習・実験・実習科目を通じた能動的学習 (3) 卒業研究：主体的に学ぶ姿勢と共に、他者と協力しながら課題を解決し、生涯にわたって活かすことのできる総合的学習と創造的思考力の育成

学部	理工学部
学科	機械工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教職課程では、教員養成課程として求められる高い教養と専門的能力を持つ教員であるとともに、「科学的な思考力・表現力」、「科学に関心を持ち続ける態度」、「観察・実験、探究活動」等の基本的方法論を身につけ、幅広い素養や社会貢献能力を持った上で、「自然科学の基礎が理解できる人材」や「ものづくり産業を支える人材」を育成できる教育の担い手を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科においては、総合基礎科目、数学、物理、機械工学の基礎科目等を通じて、教員としての資質・技能を育成するとともに、機械工学・工作の基礎を実際に体験する「実感教育」として展開している実験・実習等の科目による「科学的な思考力・表現力」および「観察・実験、探究活動」等の基本的方法論を身につけた教員を養成する。また、設計製作科目および卒業研究等を通してものづくり産業や社会に通用する専門知識とその応用力を持つ高度な科学技術者としての素養を有する理科及び工業教育の人材を育成する。</p>

学部	理工学部
学科	交通機械工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教職課程では、「交通機械」を主軸にした機械工学の基礎と「知的ものづくり」の教育を通して、高い教養と専門的能力を持つ教員の養成（科学技術と人間生活、物理分野に強い教員）を使命としつつ、理科教育に求められている科学技術に関する基礎的な素養を身につけた教員を養成する。また、社会に通用する専門知識とその応用力を持つ「新たな時代のものづくり産業を支える人材」を育成することのできる工業教育の担い手も養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科では、自動車、航空・宇宙機、鉄道車両などの交通機械をベースに、実際に見て触れる「実感教育」を展開している。自動運転の実用化など、社会でより高度な技術と広い視野が求められる中、設計・製作などのハード面に加えて制御などのソフト面の学習も強化している。機械工学の基礎学力と応用技術力、安全、環境など社会のニーズに応える創造力と、グローバルな視野を備えた技術者を目指し教育を行っている。</p>

学部	理工学部
学科	メカトロニクス工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学の立学の精神に基づき、幅広い知識と豊かな感性を備え、工業教育上の諸問題を解決するために学び続ける、科学と人間生活、物理分野に実践力ある教員を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>①実験や演習科目（メカトロニクス実験，メカトロニクス基礎演習，集中演習，機能再現演習）を通じて、科学的な思考力・表現力を育て、科学に対して関心を持ち続ける姿勢を持つ教員を養成する。</p> <p>②根幹科目，深耕科目を通じた専門的な学びを通じ、社会に通用する専門知識を有し、さらにはその知識を応用しながら、分野を横断した俯瞰的な思考を有する高度な科学者を養成する。</p>

学部	理工学部
学科	社会基盤デザイン工学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科は、名城大学の「立学の精神」を汲み、「穏健中正で実行力に富み、社会基盤に関わる課題を通じて地域・国家・国際社会に貢献できる技術者を育成する」こと教育目標に掲げ、「多様な価値観、技術者としての倫理観を身につけ、自然科学の基礎や社会基盤に関わる専門知識を持ち、また、それらを応用し、新たな課題を解決できる能力を持つ教員」を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科の特色ある教育研究を通して、教員として必要な知識や諸能力を養成する。具体的には、中学校一種（理科）／高等学校一種（理科）に関しては、物理学や化学等の理科に関わる講義・実験科目の修得を必修とし、構造力学、水理学、土質力学等の専門科目の修得を選択科目として設定することにより、理科の教員として必要な知識や諸能力を養成する。高等学校一種（工業）に関しては、理工学概論と職業指導論を必修科目とし、測量学実習や社会基盤デザイン工学の幅広い専門分野に関する応用科目を選択科目として総合的に修得することにより、工業の教員としての必要な知識や諸能力を養成する。</p>

学部	理工学部
学科	環境創造工学科
<p>学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画</p>	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員の養成目的は、数学、物理または化学などの基礎知識を踏まえて、エネルギー・資源循環、環境共生と人間活動環境にかかわる科学技術などを工業高等学校の講義と実験・実習科目などで教授および指導できる教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>上記の目的を達成するために、環境創造工学にかかわる基礎科目と専門科目を「共通」、「エネルギー・資源循環分野」、「環境共生分野」、「人間活動環境分野」毎に設置し、特に実験・実習科目を充実させている。さらに、各分野で取得させる教授能力を以下のように設定している。</p> <p>「エネルギー・資源循環分野」では、再生可能エネルギー技術・エネルギー変換技術の開発や、ライフサイクルの視点から省エネルギー対策技術、材料の長寿命化、省資源・循環に関わる科目を配置することで環境負荷低減に寄与するための知識と技術を教授できるようにする。また、「環境共生分野」では、自然環境の成り立ちおよび自然環境の変動状況の理解を深めるための地球・地域環境問題に関する科目を配置し、広域・長期の視点で自然との共生のための知識と技術を教授できるようにする。さらに、「人間活動環境分野」においては、人間活動や人体と環境の相互の影響の分析、これに基づく持続的な環境の創造、人間活動の場となる都市・住環境の基盤施設の持続性の評価などの科目を配置し、エネルギーの生産と消費にかかわる知識と技術を教授できるようにする。</p>

学部	理工学部
学科	建築学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成の目標は、教員養成課程として求められる高い教養と専門的能力を持つ教員であるとともに、科学技術者としての「科学的な思考力・表現力」、「科学に対する関心を持ち続ける態度」、「観察・実験、探究活動」等の基本的な方法論を身につけた教員を養成することにある。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科では、工学性と芸術性をもつ優れた生活環境や文化的環境の空間原理を追求し創造する専門能力を有する人材を育成している。そのために、専門教育の科目相互を体系的に編成し、講義科目と関連する設計・演習・実験・実習科目を有機的に結びつけている。また、能動的学修の要素を取り入れた教育により課題に対する解決力・応用力を養っている。</p>

学部	農学部
学科	生物資源学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科においては、教養教育及び学科での専門教育・研究活動を通じて、広く豊かな教養を備え、理科分野及び農業分野の高度な専門知識を「生命・食料・環境」にかかわる日常生活と結びつけて深く理解した洞察力・創造力・実践力のある教員を育てることを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>多様な教養教育を基礎に、微生物・動物・植物の特性や生物間の相互作用、生化学的視点からの生命のしくみ、農産物生産や生産環境形成の理論、経済学的視点も含めた農業生産の解析・評価法など様々な視点からの教育を行う。また、観察や実験などを通して自然科学を指導する能力の養成のために学生実験や農場実習を重視したカリキュラムを策定する。</p>

学部	農学部
学科	応用生物化学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科においては、教養教育及び学科での専門教育・研究活動を通じて、広く豊かな教養を備え、理科分野及び農業分野の高度な専門的知識を「生命・食品・化学」にかかわる日常生活と結びつけながら深く理解した洞察力・創造力・実践力ある教員を育てることを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>多様な教養教育を基礎に、バイオテクノロジーや生命科学、食品科学、物理化学や有機化学も含めた様々な視点からの教育を行う。また、観察や実験などの自然体験を指導する能力や、実践的な能力の養成のために農場実習や食品加工実習を重視したカリキュラムを策定する。</p>

学部	農学部
学科	生物環境科学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科においては、教養教育及び学科での専門教育・研究活動を通じて、広く豊かな教養を身につけるとともに、理科分野及び農業分野の高度な専門的知識を環境にかかわる日常生活や農業、自然、生態系と関連付けて深く理解した教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>環境にかかわる多くの知識を次世代の生徒に伝え、持続的な社会を作る礎となるように、環境を念頭においた生物学と化学の両分野を一体化した教育を行う。また、観察や実験などを通して自然体験を指導する能力や、実践的な能力の養成のために、環境教育を重視したカリキュラムを策定する。</p>

学部	都市情報学部
学科	都市情報学科
<p>学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画</p>	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>人々の生活空間である「都市」が直面する様々な問題に対して、文理横断・学際的な側面から、科学的かつ客観的に分析・解決する人材を育成する学科の教育理念に基づき、教職に関わる幅広い専門性と実践的な指導能力を持つ教員の養成を使命とする。特に、急速に変化し、複雑さを増す教育現場において、教員としての使命感、生徒の発達に関する深い理解をもち、学習指導要領に則り、情報・数理的アプローチを用いて、学習指導における適切な計画立案力、授業実践力および客観的な学習評価分析力などの豊かな指導力を身に付けた教員を養成する。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科の免許教科は、高等学校公民・情報であり、目標を達成するために、次の計画を実施する。</p> <p>①公民科一生徒の、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう、経済・経営、財政・行政科目群などから、経済、社会、法律、政治などに関する科目を修得させることによって、学問体系の客観的な深い理解と考察力を向上させ、教育実践力を養成する。</p> <p>②情報科一生徒の、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度に関して、整理された情報活用能力を伸ばせるよう、情報・数理科目群などから、情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理、コンピュータ・情報処理、情報システム、情報通信ネットワーク、マルチメディア表現・技術に関する科目、特に、多くの演習科目の修得を通して、技術の進展に対応する知識のみならず、プログラミング技術などを活かした実践的指導力を養成する。</p> <p>③公民科、情報科に関する教科及び教職に関する科目を、学部教育早期の1～3年次に、5つの専門科目群および教養教育科目群から、24単位以上を目途として修得させ、教員として求められる素養を深める。</p> <p>④4年次には、教職センターと連携しながら、教育実習に対し、ガイダンスを先行実施し、教職課程履修者のゼミ指導教員などが実習校へ訪問指導を行い、研究授業の参観、適切な指導・助言を行う。また、教員採用試験に向けた各種対策講座、ガイダンス等を実施する。</p>

学部	人間学部
学科	人間学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>急激な時代の変化に斬新かつ創造的に対応できる人材として、豊かな人間性に裏打ちされた広い視野と教養、国際的な舞台で活躍できる人材が求められている。本学科の理念に鑑みて、幅広い教養の形成という観点を生かした教員養成を目標としている。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科のカリキュラムは「国際・コミュニケーション」「社会・教育」「心理」という三領域にて構成されている。学生はこのうち一つの分野を中心として学修を進めることを基本としつつ、他の分野に関しても一定度履修することを卒業要件とし、広い教養の形成を目指すカリキュラムを備えている。</p>

学部	外国語学部
学科	国際英語学科
学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科の教員養成課程は、グローバル人材の育成という学科設置の目的を踏まえ、グローバル化社会に必要な、実践的なコミュニケーション力、豊かな教養や高い英語力、異文化理解力、日本の文化や歴史を世界に説明できる力を有し、対話を通し課題に取り組み、かつ、教科に関する十分な専門的知識と指導力を備えた教員を養成することを目標とする。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>当該目標を達成するために、次の計画を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中・高等学校教員養成コアカリキュラムに対応した教職課程を提供する。 ② 教科に関する専門的事項を専門教育の基礎となる科目群に重点的に配置する。 ③ 教育の基礎的理解に関する科目等により、教職への意欲や理解を深め、高い指導力を身に付ける。 ④ 教科の指導法に関する科目において、現職の中学校、および高等学校の教員をゲスト・スピーカーとして招聘する。 ⑤ 近隣の小中学校、また本学附属高校と連携し、学校インターンシップを実施する。 ⑥ CEFR B2レベルの英語力を身に付けるため、十分な英語スキル科目を提供する。 ⑦ 異文化理解力、日本の事情等を説明する力等を身に付けるため、教育課程全体で教職課程を支える。

学部	情報工学部
学科	情報工学科
<p>学科の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画</p>	<p>[教員の養成の目標]</p> <p>本学科は、情報活用力、情報に関する科学的理解、情報化社会の中で情報が果たしている役割や及ぼしている影響について精通し、かつ課題の理解や解決策の探求も含めた実践的な課題解決能力を合わせ持つ教員を養成することを目標とする。社会に通用する高度な科学技術者として求められる高い教養と専門的能力を備えた教員を輩出して社会に貢献していく。</p> <p>[当該目標を達成するための計画]</p> <p>本学科は、目標を達成するために、次の計画を実施する。</p> <p>①教員としての資質・技能の養成 教育の基礎的理解に関する科目等を通して、教員としての資質・技能を養成する。</p> <p>②本学科の教育研究上の特色を生かした教職課程の編成 情報工学に関わる4つの専門領域である「フィジカルコンピューティング」、「データエンジニアリング」、「ヒューマン・メディア」、「ネットワークシステム」の科目を設置し、高度で特色のある教育研究を通して、教員として必要な高い教養や専門的能力、課題解決能力を育成する。</p>